

# 人文学部卒業研究

漫画から得られる教育効果

題 目 ～うつヌケを中心に～

---

指導教授 栗木 千恵子

印

---

提出年月日 2018年 12月 14日

---

学籍番号 HI15039

---

氏 名 竹田 昌平

---

## 漫画から得られる教育効果～うつヌケを中心に～

HI15039 竹田昌平

### 要旨

本研究の目的は、従来は娯楽のためのメディアとされていたマンガが、最近では、教育分野にも取り入れられるようになった。そこでマンガの教育的価値を『うつヌケ』を中心に論考し、さらに今後漫画が教育とどのように関わっていくか考察する。

うつ病をテーマとしてマンガ化した『うつヌケ』（田中圭一 2017）は 30 万部の大ヒットを記録した。その背景には、うつ病やうつ病患者の自殺などの社会現象が背後にあると考えられる。つまり「いつ自分の身に起きるかわからない」「身内にうつ病患者がいる。」などと言った発言からうつ病や自殺はもはや他人事として見てみぬふりができなくなったと考えられる。しかし、従来のうつ病に関する書籍は、一般に難解でこうした一般の人々のニーズに応えることができなかった。ところが、漫画という読者が馴染みやすい形で書くことで大ヒットを記録したと考えられる。

この点に着目し、漫画は学習のために、さらに活用できるのではないかと思い漫画の教育分野の可能性を研究しようと思いついた。

本論の構成は以下の通りである。第 1 章では、漫画と教育がどのような関係性を持っているのか明確するため、漫画から学習する意義を定義づけた。歴史的背景も交えながら、現在教育現場でどのように使用されているのかまとめた。第 2 章では、『うつヌケ』を具体例に挙げ、どのような教育効果があるのか、どのような読者とどのように関わっているのかまとめた。第 3 章では、電子媒体の普及に伴い、漫画全体の影響力の増大した点を指摘し読者との関係を考察した。結論として、教育マンガの役割は「学問や勉強の入り口になる」ということが判明した。最近では、学習できる内容の漫画が増加し、今後もこうした傾向が続くと考えられる。したがって子供や学習をする者の可能性を大きく広げることができるかと考察した。

今後の課題として、教育や学習をきちんと得るためには、漫画だけでは不十分である。そのため、漫画は教育や学習の入り口にしかすぎず、学問や勉強までつなぎ、教科書や参考書等までに持っていくということが挙げられる。

### キーワード

漫画 教育 うつヌケ うつ病 「入り口としての漫画」

## 目次

はじめに 序論.....	1
1 章 漫画と教育の関係<戦後から現在> .....	2
1-1 漫画の歴史的背景 .....	2
1-2 教育とマンガの関係性 .....	5
1-3 現在のマンガ教育 .....	9
1-4 視覚的効果 .....	11
2 章 マンガの教育効果 .....	12
2-1 うつヌケとは .....	12
2-2 うつヌケ 要約 .....	13
2-3 うつヌケを見た感想 .....	14
2-4 読者の反応レビュー .....	14
2-5 うつヌケがヒットした理由 .....	16
3 章 マンガから得られる教育効果の今後 .....	19
終わりに 結論.....	21
参考文献.....	22
参考 URL .....	23